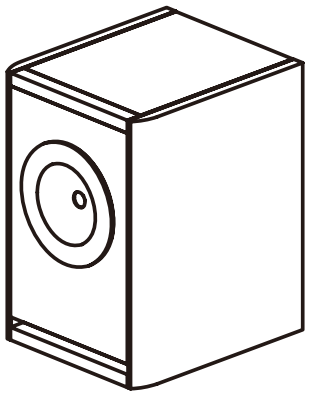
村田製作所
Murata Manufacturing Co., Ltd.

取扱説明書

Harmonic Enhanced Speaker System

ES701



このたびは株式会社村田製作所の製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は事故を防ぐための重要な注意事項や製品の取り扱い方を示しています。
ご使用の前に、この「取扱説明書」を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に大切に保存して下さい。

目次

安全上のご注意 2
使用上のご注意 4
各部の名称 5
接続のしかた 5
特長 6
仕様 6
故障かな？と思ったら 7
保証・アフターサービス ... 7

安全上のご注意

絵表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

⚠ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

当製品は、家庭内又は事業所内で使用されることを前提にして安全に十分配慮して設計されております。しかし、電気製品はすべて間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために以下のことを必ずお守り下さい。

⚠ 警告

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**予期せぬ事故**の原因となります。

内部を開けない

スピーカーを分解や改造しないで下さい。発熱部に触れるとやけどや感電の恐れがあり特性劣化の原因となります。

スピーカーコードを傷つけない

スピーカーコードを傷つけると火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

内部に水や異物が入りますと、火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、直ちに接続しているアンプの電源スイッチを切って下さい。その後、スピーカーコードを端子から抜き、当社サービス窓口にご相談下さい。

風呂場、シャワー室では使用しない

風呂場等多湿な場所での使用は避けて下さい。火災や感電の原因となります。

乗用車など乗り物では使用しない

製品の固定状況により製品が不安定になり、予期せぬ事故の要因となります。
また、高音により変色や変形したり、正しく動作しなくなる可能性がります。

万一異常が起きたら

変な音やにおいがしたり、煙がでたら
①すぐに接続しているアンプの電源を切って下さい。
②スピーカー接続コードをスピーカーから外して下さい。
③当社相談窓口に修理を依頼して下さい。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

安定した設置をする

不安定な場所に置かないで下さい。落下や転倒によりけがの原因になることがあります。また、本製品の上に外枠からはみ出るような大きいものや重いものを置かないで下さい。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。

幼児の手の届かないところに置く

落下や転倒により、けがの原因となる場合があります。
特にバスレフポートに指を入れるとけがの原因となる場合があります。

定格インピーダンスに不適合なアンプで使用しない

6Ω対応のアンプをご使用下さい。

オーディオ以外の用途に使用しない

予期せぬ問題を起こすことがあります。

最大入力を守る

最大入力以上の過大入力を与えると発熱したり、特性劣化の原因となります。

スピーカーへの接続コードの配線に注意する

接続コードにつまずいたり、引っ掛かったりしてスピーカーが転倒しけがの原因になることがあります。

アンプへの接続時に注意する

スピーカーをアンプに接続する際にはアンプの電源を必ず切って下さい。
電源が入った状態でコードをショートさせると、アンプを故障させたり、火災、感電の原因になることがあります。また、アンプの電源を入れる前にアンプのボリュームを最小にして下さい。突然大きな音が出てスピーカーが破損したり聴覚障害の原因となることがあります。

使用上のご注意

この機器の表面をベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かない また、スプレー式の殺虫剤、消臭剤、芳香剤なども かからないようにご注意下さい。

変形したり、塗装がはがれることがあります。

直射日光があたる場所や暖房器具の近くなどに置かない

異常に温度が高くなる場所に放置しないで下さい。本体や部品に悪い影響を与えることがあります。

スピーカーユニット及びハーモニックエンハンサーの表面を触ったり、つついたりしないで下さい

スピーカーユニット、ハーモニックエンハンサー（セラミックス）は衝撃、圧力に弱い構造となっております。表面を手で触ったり、硬いものでつついたりすると破損することがあり、製品の基本性能を損なうおそれがあります。

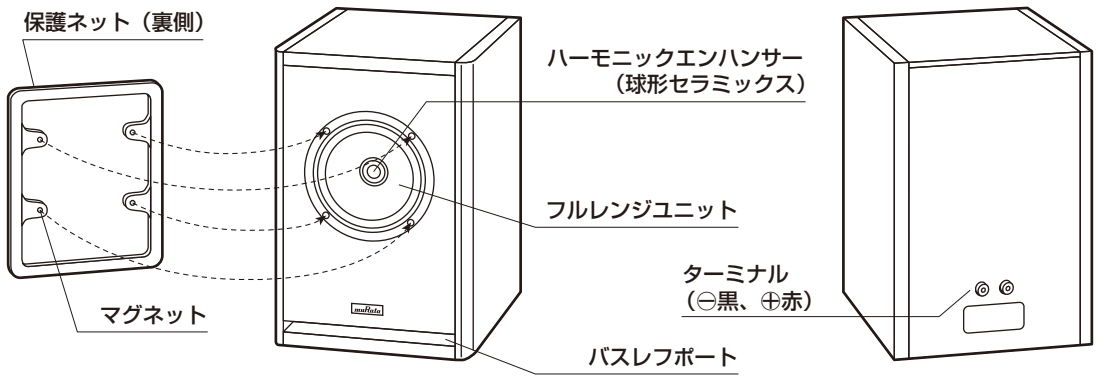
テレビ、パソコンモニター、時計など磁石に敏感なものから20cm以上離して下さい

スピーカー内部の磁石の影響で、画像の色の変化や磁化によるトラブルをおこすことがあります。

いつまでも気持ち良くお使いいただくために

製品表面についた、ほこりや手の汚れのあとを長く放置すると変色の恐れがあります。設置のあと、また使用開始後も、時折柔らかい布で表面を手入れして下さい。

各部の名称



保護ネットの取り付け方

保護ネットは4ヶ所のマグネットでスピーカー本体に着脱することができます。取り付け、取りはずしの際はユニットに傷をつけないようご注意下さい。

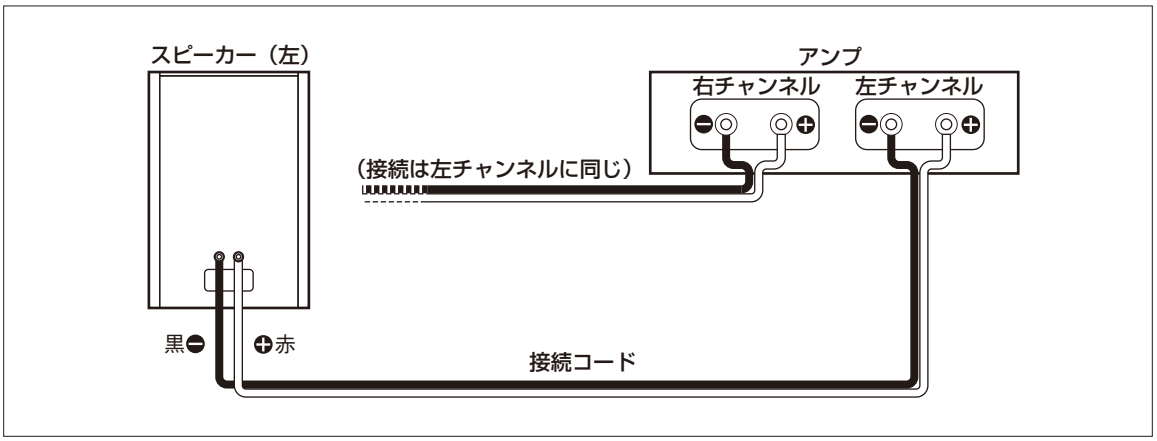
接続のしかた

接続のまえに

インピーダンスに合ったアンプをご使用下さい。接続の際には必ずアンプの電源を切って下さい。

接続のしかた

お持ちのアンプに合せてお使い下さい。スピーカー側の端子は極性を合わせて接続して下さい。各端子は緩まないようにしっかり締めて下さい。接続にはオーディオ用スピーカーケーブルをご使用下さい。



特長

1．フルレンジユニットの中心にハーモニックエンハンサーを据えた同軸構造

フルレンジユニットの良さを最大限引き出すべく、同軸上の最適位置にハーモニックエンハンサーを取り付けました。理想的な点音源により、しっかりとした音像と定位を実現しています。

2．ハーモニックエンハンサーの圧倒的な空間再現力

ハーモニックエンハンサーは半球形圧電セラミックスでできており、この圧電セラミックス自身が呼吸モードで振動し音を発します。入力信号に対し高速応答性を持ち、倍音一音々々の立ち上がりから立下りまで時間の遅れなく正確に再生、音の輪郭を際立てて演奏の雰囲気を再現します。

3．キャビネットには最適な響きを追及し2種類の素材を使用

「ES701」のキャビネット側面には剛性を考慮し安定した響きを備えた天然木（Eucalyptus）を採用しています。各部の組み合わせと板厚を最適化することで豊かな響きを実現しています。

仕様

方式	：ハーモニックエンハンサー同軸搭載フルレンジスピーカー
平均音圧レベル	：85dB（周波数範囲：70Hz～20kHz）
最大入力	：30W
推奨アンプ出力	：25W～100W
定格インピーダンス	：6Ω
外形寸法	：W212 × D247 × H312mm
重量	：5kg（1本）

故障かな？と思ったら

音が出ない

・コードがはずれていないか接続を確かめて下さい。
・アンプなど外部機器との接続がまちがっていないか確認下さい。
・スピーカーケーブルが⊕と⊖でショートしていないか確認下さい。

万一、異常が起きたら

変な音、においがしたり、煙がでたら
①すぐに接続しているアンプの電源を切って下さい。
②接続ケーブルをスピーカーから外して下さい。
③当社相談窓口にご連絡下さい。

保証・アフターサービス

保証書

添付されている保証書にお買い上げ店の印を押していただき､大切に保管して下さい。保証期間は保証書に明示されております。また。「無料修理規定」が保証書に記載されております。

アフターサービス

まず「故障かな?と思ったら」を読んで確認・試行して下さい。それでも解決しないときは弊社相談窓口（http：//www.murata.co.jp/speaker/　またはフリーダイアル0120-015-008、月曜日から金曜日の9：00―12：00、13：00-17：30．日曜祝日及び弊社休業日は除く）にご相談下さい。この場合、型名、製造番号、故障の状態、ご購入年月日をご連絡下さい。

保有期間後の修理は

保証期間後の修理は有料でさせていただきます。なお、送付費用についてはご負担願います。

部品の保有期間について

当製品の製造打切り後最低8年間です。修理の際はお買い上げ店か当社相談窓口にご相談下さい。

おことわり

本書は株式会社村田製作所が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーまたは転載することを禁じます。

□□□□□□□□□□□相談窓口□□□□□□□□□□

電話フリーダイヤル 0120-015-008

〈月曜日から金曜日の9:00～12:00、13:00～17:30．日曜祝日及び弊社休業日は除く〉

株式会社村田製作所　大宮営業所

〒330-0854　埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10番地16　シーノ大宮ノースウィング11階

株式会社 村田製作所

本　社　〒617-8555 京都府長岡京市東神足1丁目10番1号

URL　http://www.murata.co.jp/speaker/

UZZ01B003

2009.10